# 僕は戦争花嫁（1949）

I WAS A MALE WAR BRIDE

**メディア** 映画
**ジャンル** コメディ
**製作国** アメリカ
**色彩** B&W
**時間** 105分
**初公開日** 1950/12/05
**公開情報** セントラル

**【解説】**

Ｈ・ホークスの真骨頂、スクリューボール・コメディの傑作。大戦後、占領下のドイツ・ハイデルブルグの米軍政部にフランス軍経済調査官アンリ（ヘンリー）・ロシャール大尉がキャスリン・ゲイツ中尉を訪ねてやってくる。彼らは以前協力して、ナチの盗んだ財宝や重要書類を捜し出し勲功賞を受けた間柄。しかし、プライドの高い同士の二人には喧嘩が絶えず、二度と会うまいと互いに心に決めた仲だった。アンリは彼女の机にネグリジェや下着、靴下をぶちまける。洗濯屋が間違って自分に届けた彼女のもので、これ見よがしな当てこすり。君に会いにきたのではないからな－－というワケだが、結局、今度の任務＝さる闇市にいるレンズ職人の捜索にも彼女が同行することになり……。キャスリン運転のバイクで、アンリはサイドカーにちんまり座り、極めてテンポのよい（しかし、寄り道ばかりの）道行きで炸裂する会心のギャグ。最後には愛が通って結婚したご両人。ところが、キャスリンに帰還命令がくだり、離れたくない彼らは、民法上の盲点を利用し、アンリが戦争花嫁としてアメリカに入国しようとする。手続きの度それを説明するのにくたびれ果てるアンリ。ようやく乗船に漕ぎつけたが、最後の難関は水兵たち。“男の花嫁などあるか”とはねつけられ、仕方なくキャスリンたちが取った手段とは……。男勝りの女中尉のＡ・シェリダンがお色気を出す所の演出が、いつもながら御大ホークス、全く心憎い。

**【クレジット】**

| | | |
|---|---|---|
| **監督** | ハワード・ホークス | Howard Hawks |
| **製作** | ソル・Ｃ・シーゲル | Sol C. Siegel |
| **原作** | アンリ・ロシャール | |
| **脚本** | チャールズ・レデラー | Charles Lederer |
| | レナード・スピゲルガス | Leonard Spigelgass |
| | ヘイガー・ワイルド | Hagar Wilde |
| **撮影** | ノーバート・ブロダイン | Norbert Brodine |
| | オズモンド・ボラデイル | Osmond Borradaile |
| **音楽** | シリル・モックリッジ | Cyril Mockridge |
| | ライオネル・ニューマン | Lionel Newman |
| **出演** | ケイリー・グラント | Cary Grant |
| | アン・シェリダン | Ann Sheridan |
| | マリオン・マーシャル | Marion Marshall |
| | ランディ・スチュアート | Randy Stuart |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.